

初學讀本

吉田賢輔編述

三

273
458

館藏書台百款本日大			
			二
八	四	一	六
冊	號	架	函

檢定合格本

K1.20.82
93a
3

本居豐穎校訂
吉田賢輔編述

卷三

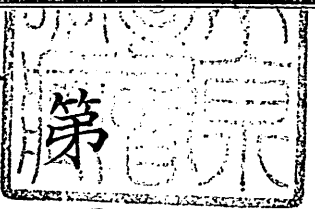
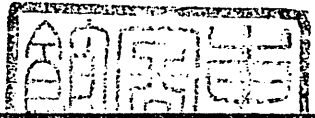
初學讀本

東京 汎愛堂藏梓



昭和二十一年四月五日内務省交付 3516

初學讀本卷三



本居豐頴

校訂

吉田賢輔

編述

庭池。松。桐。柳。樹。岸。

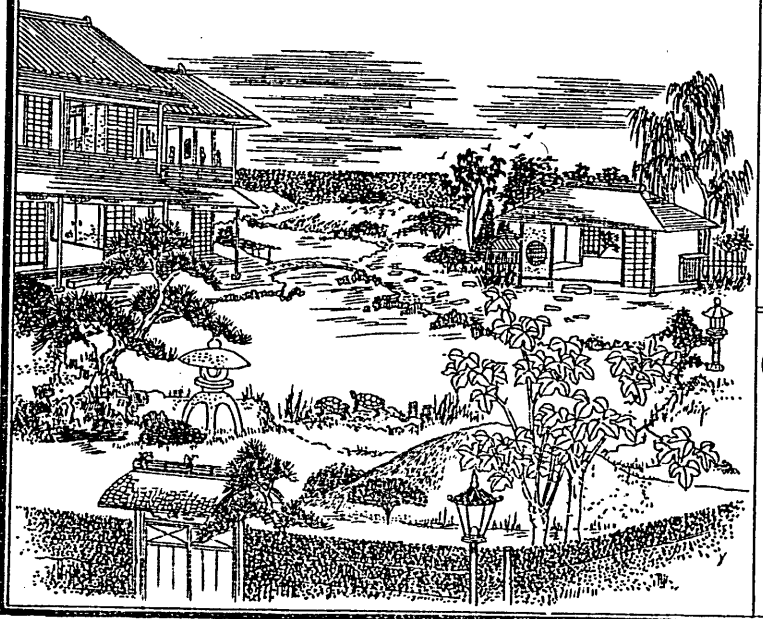
家ノ。マ。ハ。ニ。庭アリ。

庭ノ。マ。ハ。リ。ハ。イ。ケ。ガ。キ。ニ。テ

カ。コ。ム。

初巻言石 卷之三

庭ニハ 池ト
ツキ山アリ。
ツキ山ニハ
松桐柳ノ 樹
アリ。
池ノ岸ニハ
カメ イデテ。



アソブ。

第二 蝶。美。着物。帯。

かたつむりに 家あり。

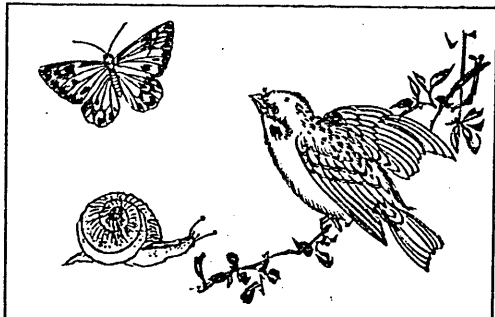
雀に つばさあり。

蝶に 美しきはねあり。

あなたに 何があるか。

私に 着物。帯。はきもの

その他



初巻言石 卷之三

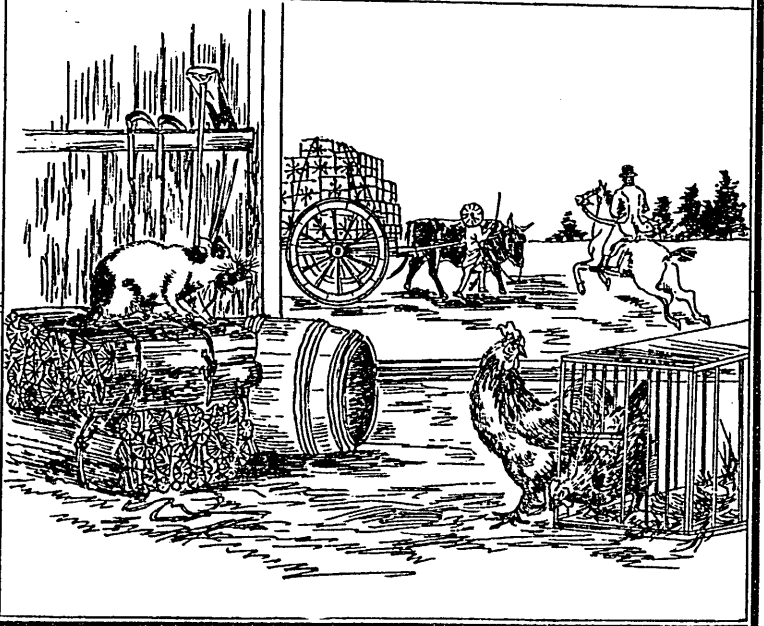
いろいろのいゝなあり。
されども かたつむり。雀蝶に
ハ 私のごとき 志なものをなす。

第三 車。荷。負。田。鼠。

牛馬ノ。タグヒニテ 人ノ 用ヲ
ナスモノ 種々アリ。
馬ハ 人ヲノセ 或ハ車ヲヒク。

牛ハ 荷ヲ負
ヒ 又田ヲス
ク。 猫ハ 鼠
ヲトリ。
雞ハ 卵ヲウ
ム。

第四 蛙。蛇。



能合氣此。

蛙ハ 蛇をたろれ。

蛇ハ なめくぢをたろれ。

なめくぢハ 又蛙をたろる。

今これを 一つの處にたけば

いかがするぞ。

蛇は 蛙を のまんとすれども

なめくぢをたろ
れて すすむこ

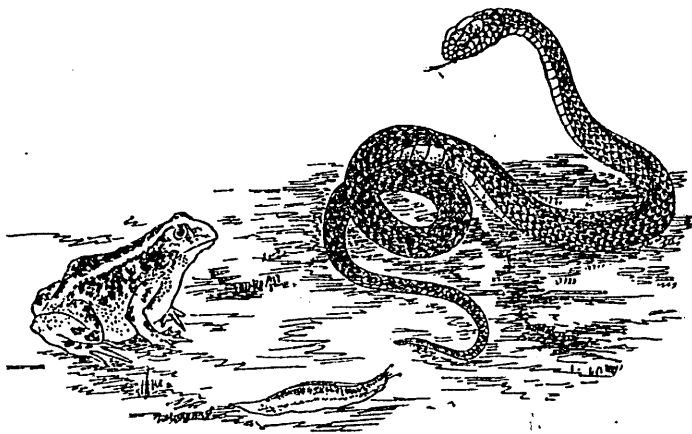
と能はず。

又蛙は なめく

ぢを のまんと

すれども 蛇を

たろれて すす



むこと能はず。

たがひに にらみ合へり。

あなた ら 氣をつけて 此の

ねもゝるまき ありさまを見よ。

第五 軒。巢。爲。思。食物。細。蟲。

知終。

クモハ 軒ノ下ニ 巢ヲ カケ

ントス。

クモノ

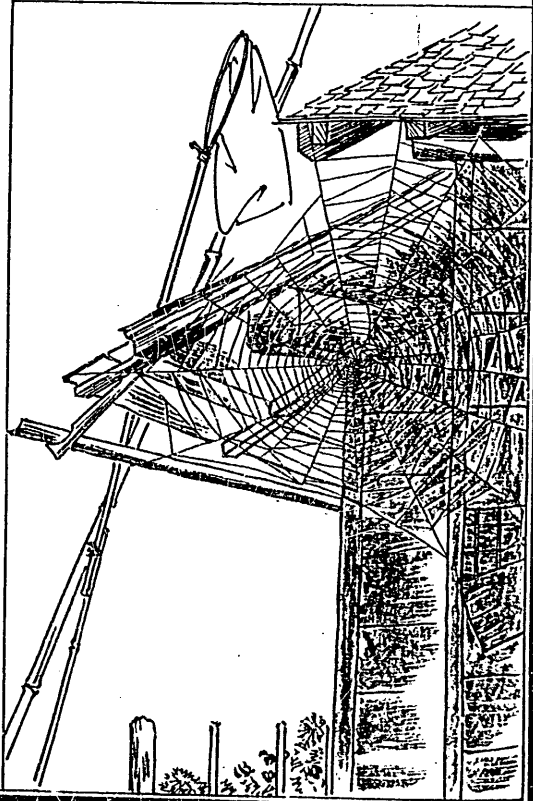
カク 巢

ヲカクル

ハ 何ノ

爲ナリト思フゾ。

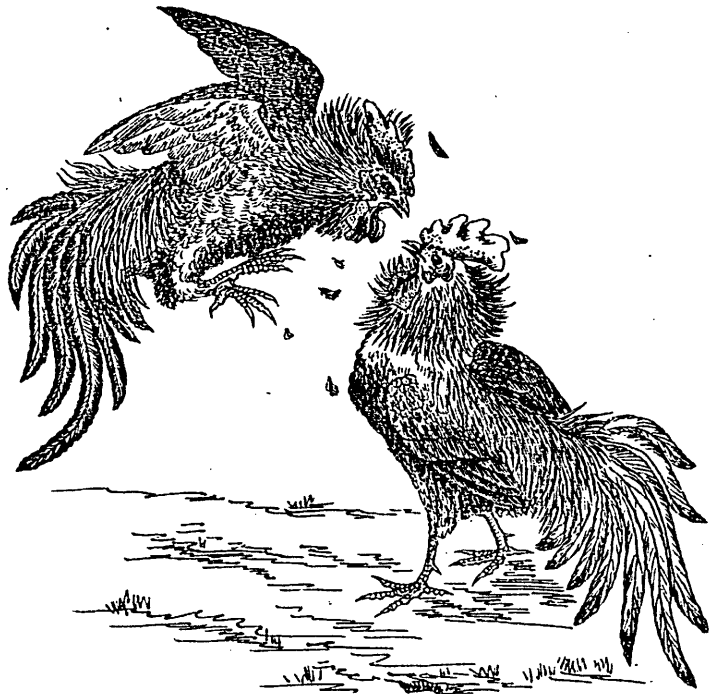
クモハ コノタクミナル シカ



ケニヨリテ 食物ヲトランス。
クモノ巢ハキハメテ細キユエ
蟲ハコノ巢ノアルコトヲ知ラ
ズシテココニカカリニグル
コト能ハズシテ終ニソノ食物
トナルナリ。

第六 雄雞若勝負飛。

雄雞が
たがひに
たたかふ
彼らハ
人のたた
かふとち
がひか



み又いける。

今 彼らの一はい ねもききず
をうけたり。

彼らいつまで たたかはん
とするか。

若し 彼らがなすまゝになつて
かば 勝負のつくまで たたか

ふならん。

若し

勝負が

つき

あらば

勝たる

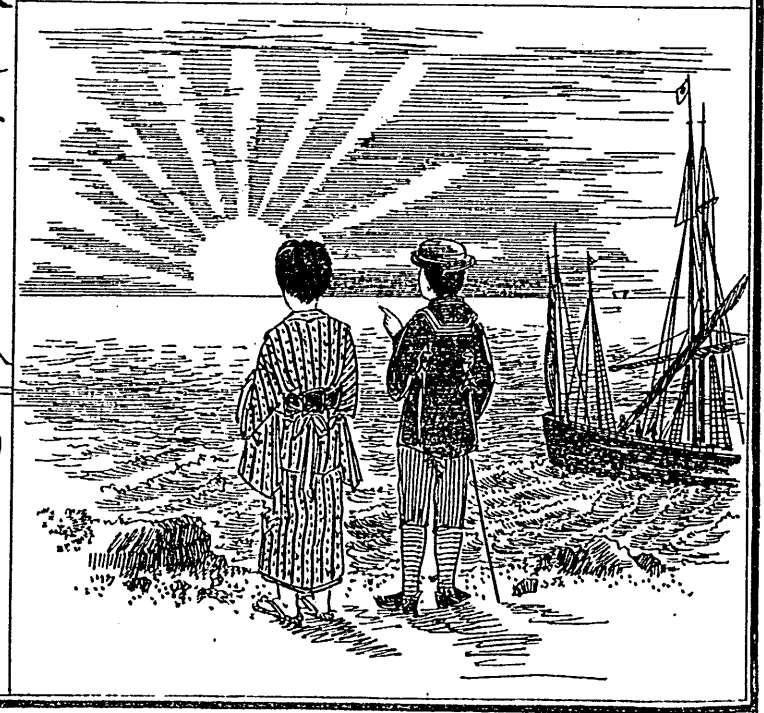
方の



高き處に飛びあがり はねばた
まきゝて かちどきをうたひ。 負
けたる方ハ つばさををさめ
志ほしほとして にげかくるべ
し。

第七 日。東。入。西。向。前。南。北。
晝。後。

日ノ出ツル
方ヲ 東ト
イヒ。 日ノ
入ル方ヲ
西トイフ。
アサ日ニ向
へバ 東ハ



前ニシテ 西ハウシロニアリ。
 右ハ南ニシテ 左ハ北ナリ。日
 ノ出デテヨリ 入ルマデヲ 晝
 トイヒ。 入りテ後ヲ 夜トイフ。
 第八 四時名。
 春夏秋冬 コレヲ四時トイフ。
 一年ニハ十二ヶ月アリ。 月ニハ

大小アリ ツノ名ハ 左ノ如シ。

一月 _大	三十一日	二月 _小	廿八日又廿九日
三月 _大	三十一日	四月 _小	三十日
五月 _大	三十一日	六月 _小	三十日
七月 _大	三十一日	八月 _大	三十一日
九月 _小	三十日	十月 _大	三十一日
十一月 _小	三十日	十二月 _大	三十一日

第九 曜。月。火。水。木。金。土。週。日。

日曜日 月曜日 火曜日 水曜日

木曜日 金曜日 土曜日

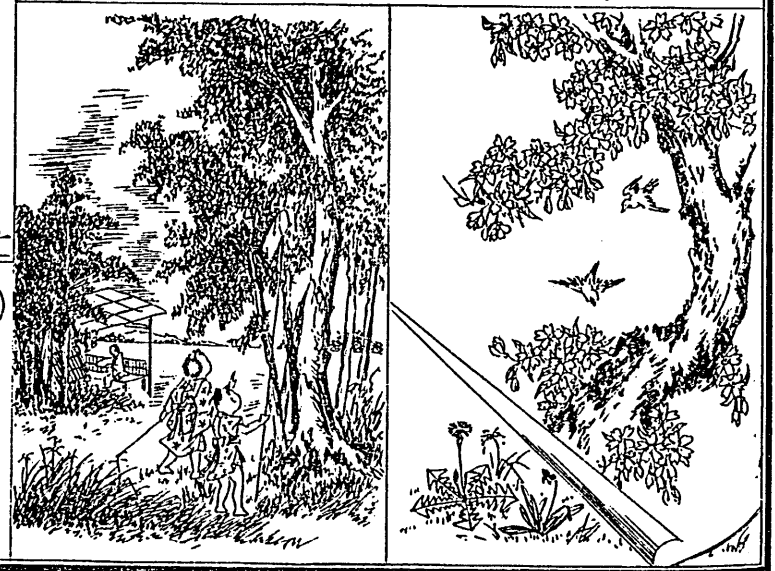
コノ七日ヲ 一週日トトナヘ

七日目ゴトニ モトノ日ニカヘ

ル。

第十 春。草。花。秋。冬。至。多。葉。

春ハ あたたか
にゝて 草木み
なめをいだし
花さく。
夏ハ あつさつ
よくゝて 草木
さかえ志げる。





秋ハ すぐく
志テ 花みをむ
まぶ。 秋のす急
より 冬に至れ
ば 多くの木の
葉たち 草ハ
かるる。

第十一 舟釣列陸地魚。

舟にのりて 釣をたるものあり。
あみをひくものあり。
あみをひく舟ハ 列をなして
つなをくり 志だいに 陸地に
ひきあぐ。 ろのなかよハ 大小
種々の魚あり。



をどりて 波を
 はね りのねも
 志るきこと か
 ぎりなり。
 又 釣舟に於て
 は 大なる魚を
 釣りたり。これ

らみ みなれふゝなるべし。

第十二 我中恐甚心配。北雞。

このめんざりの あひるのひなを。
 我が子と思ひて。 多くともなへり。
 このひなは 水の上にて およ
 ぐことをこのみ みな水中に入
 れり。

めんざりのひ
なの 水中に志
づまんことを恐
れて 甚心配せ
り。何ゆゑに
牝雞い かやう
に心配するぞ。



牝雞い あひるの 水にたよぐ
ことを志らぬゆゑなり。

第十三 天氣。菜。四方。遊。早。

善心。惡。平生。

姉ト弟ハス。ツレダチテ 學校ニ
ユカントス。サテ今日ハ アタ
タカナル天氣ニテ。鳥ハ 木ニ

サヘヅリ 蝶ハ
菜ノ葉ニ。トマ
リテ 四方ノケ
シキ。オモシロシ。
弟ノ曰ク 我
レハ 學校ニ。ユ
クコトヲ。ヤメテ



此ノ。ヘンニテ遊バン。

姉ノ曰ク 今日 學校ハヤス
ミニ。アラズ。ヤスミニ。アラザル。
トキニ 遊ブ。モノハ ヨキ小兒
ニ。アラズ。早ク 學校ニ。ユクベ
シ。
弟モ モト 善キ小兒ナレバ。

一タシハ遊バントスル心オ
コリタレドモ。姉ノ云フコトヲ
キキテ學校ニユキタリ。
兒童ヨ。モシ此ノ弟ハ姉ノ
云フコトヲ用ヒズ。途中ニテ
アソビシナラバ其ノトキハ
オモシロシトイヘドモ。アトニ

テハ惡シキコトヲナシタリト思
フベシ。
ベンキヤウシタルノチニハヤ
スミアリ。平生ハ能クベンキ
ヤウシヤスミノトキニ遊ブ
ベシ。ベンキヤウシタルノチニ
遊ブハタノシキモノナリ。

第十四 每晚。食事膳。椀。茶。箸。皿。米。麥。獸。野。菜。

人の 毎日 朝と 晝と 晩の
三どに。志よくトをなす。
膳。椀。茶。椀。箸。皿ハ 食事のうつは
なり。 われわれの せい

食ふべきもの
ハ なになに
ぞ。 われわれ
ハ 平生 米
麥。及。魚。鳥。獸。野
菜のるゐをく
らふ。



第十五 農夫作此處彼處。

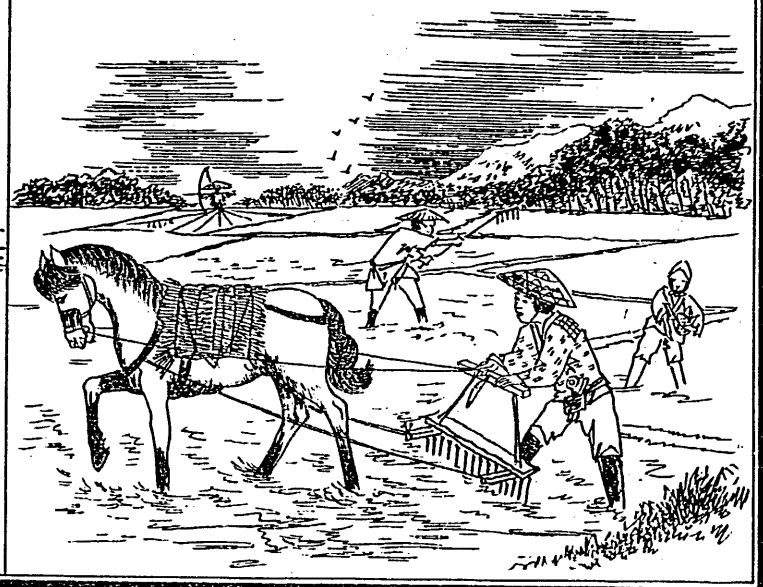
成長打揃最取。

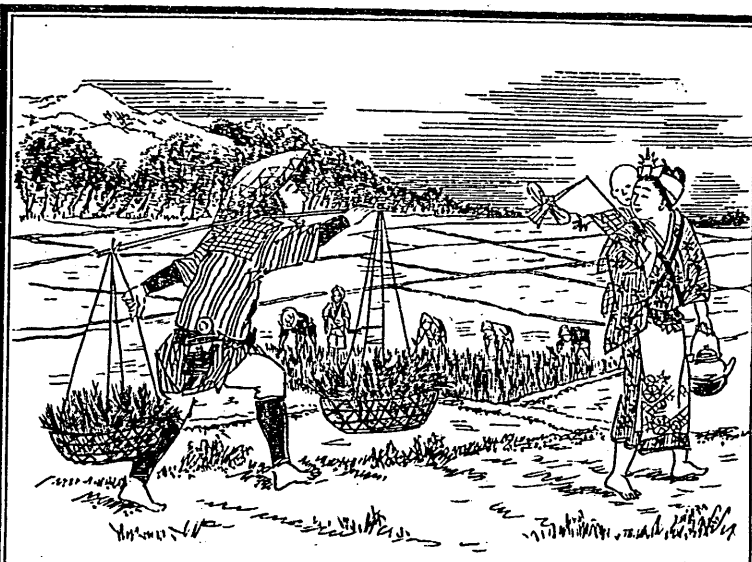
ワレワレハ 此ノ食物ヲ イカ
ニシテウルカ。

農夫ハ 米。麥。野菜。ナドヲ作ル。

今ハ 春ニテ 此ノ圖ハ モミ
ヲ。マク處ナリ。

此處ニ於テハ
田ヲ。タガヘシ。
彼處ニ於テ
ハ。タネヲ。マケ
リ。ソノ。ナヘ
成長スル。ト
キハ コレヲ





他ノ田ニウエツ
ク。コレヲ田ウ
エトイフ。
田ウエノトキハ
一家中打チ揃
ヒテ田ニ出テ
オノオノウエ

ツケヲナス。
此ノトキハ農家ノ最モイツガ
ハシキ時ナレドモ。秋ノ日ノミ
ノリハ今日ノウエツケニアレバ
農夫ニ取りテハ大切ノ時ト
知ルベシ。

第十六 幸。雨。風。順。穂。實。黄。色。

夏の間ハ 志
ば志ば田の草
をとり こや
しをなし。又
水のかげんを
はかりて ろ
の成長をたむ



く。幸にいて あらまき雨風もな
く 日よりの順もよまきとまきい。
夏の終り 秋のはじめごろよ
り 穂をいだい 多くの小さき
花をつく。
此の花おちて 實をむすび。 實
ハ 志だいに黄色となる。

これろのみのりゝときなり。

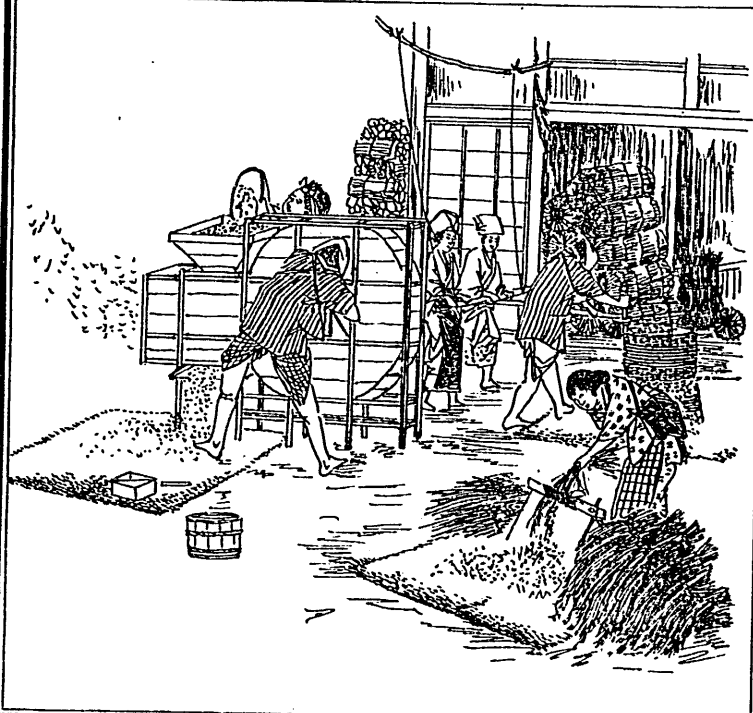
第十七 時節。至。籾別。俵考。

すでにみのりゝ時節に至れば、
農夫ハこれをかりとりてほ
ゝ。又ろの穂をこきて 籾と
あゝ。籾をひきて 米と。もみが
らとを別つ。

米ハ多く
俵に入れてた
くゆふ。
小兒らよ。は
じめもみを
まきゝより
かくもとの



もみとなま
までには農
夫のなせ
るほねをり
と心づか
ひい
か
ほどなるぞ。



よくよく 思ひ考ふべし。

第十八 業易。

善キコトヲ ナスベシ。 悪シキ
ワザヲ ナスベカラズ。 善キコ
トヲ ナシタル時ハ 其ノ夜
ココロヨク ネムリニツキ。 悪
シキ業ヲ 爲シタルトキハ 不

ムリ 易カラザルベシ。

第十九 雪降道屋根一面。

眼。鼻。炭。墨。否。太陽。

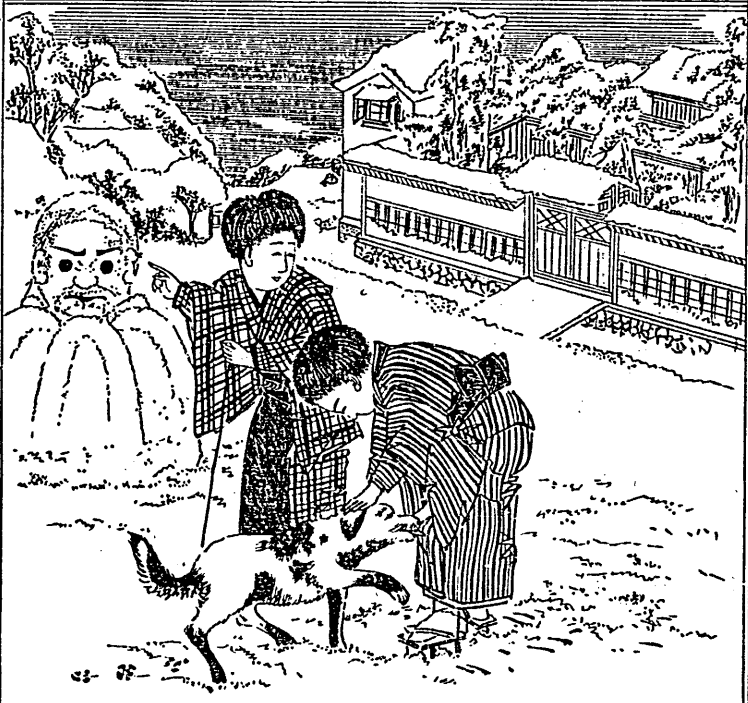
雪の 志きりに降りつもれり。

まどをあけて ろとをながむれ

ば 道も屋根も草も木も 一面

に。みな白く。かの道はたにたた

ずむものあ
り。かれの
何ものぞ。
これの
雪だるまあ
り。かれの
眼の炭に



てつくり 鼻と口ハ墨よてかけ
り。 あふたハ このたるまを
いつまでも 未未にありと 思
ふか。 否。 私ハ 太陽がてりか
がやき 地上が あたたまるとき
ハ。 雪ハとけて 此のたるまも
志せんよ きえうまるあらん

と思へり。

第二十 世如何顔洗茶飯。

皆切盡。

小兒ラ 若シ 此ノ世ニ 水ガ
ナキトキハ 如何スルゾ。 ワレ
ワレハ 朝オキテ 顔ヲ洗フ能
ハズ。 茶ヲノム能ハズ。 又 飯

ヲ。カシグ能ハズ。菜ヲニル能ハ
 ズ。其ノホカ 着物ヲ洗フ能ハ
 ズ。又 雨モ。フラス。雪モ。フラ
 ズ。サレバ 草モ 木モ 人モ
 皆盡キハツルナラン。
 水ハ 一日モ ナカルベカラズ。
 水ハ ワレワレニ 大切ナル。

モノナリ。

第二十一 幼。絲。染。赤。形。故。

圓。角。交。近。

幼キ時ハ 白キ絲ノ如シ。 白キ絲
 ハ 何色ニモ 染リ。ヤスキモノ
 ニシテ コレヲ 赤ニ染ムレバ
 赤トナリ。 黒ニ染ムレバ 黒ト

ナリ。其ノ深メカタニヨリテ
ナニ色ニモナルモノナリ。
幼キ時ハ又水ノ如シ。水ハ
モト形ナキモノナリ。故ニコ
レヲ圓キウツハニ入ルレバ
圓クナリ。角ノウツハニ入ルレ
バ角トナル。

サレバ平生善キ友ニ交リ
惡シキ友ニ近ヅクコトナカレ。

初學讀本
卷之三

20120,8

初學讀本卷三終

續本卷三

明治十九年九月廿七日版權免許
同 年十月 出版
同 二十年三月十九日訂正出版御屆

定價金七錢

東京府士族

編述人 吉田賢輔

下谷區下谷竹町
十番地

東京府平民

出版人 阪上半七

日本橋區本石町
十軒店六番地